

## 行政報告（令和元年9月定例会）

町長から行政運営について報告がありました。

足柄上地域首長懇談会	7月26日に山北町役場において、地域課題について黒岩知事と意見交換いたしました。本町からは、高速道路等のインターチェンジ周辺における工場の立地に係る開発審査会提案基準の緩和、県道77号（平塚松田）の井ノ口交差点周辺の歩道整備、県立足柄上病院における周産期医療体制及び小児科医療体制の充実の3点について県へ要望いたしました。
3市3町広域行政推進協議会	8月26日に中島副知事を訪問し、協議会構成市町に係る広域的な諸課題に対する要望を県に行いました。本町からは、平成28年に改定された「かながわのみちづくり計画」に将来に向けて検討が必要な道路として位置付けされた「県道77号（平塚松田）の新たなバイパス道路網整備」として、グリーンテクなかい入口から平塚市土屋霊園入口までの区間を含む新たな道路網について、事業化に向けた支援と協力をお願いいたしました。
防災協定	7月8日に、大規模災害が発生した際に広域避難所の仮設トイレし尿や生活ごみなどを他の業務に優先して収集運搬していただくため、県西地域を中心とする17社で組織する広域一般廃棄物事業協同組合と「災害時における一般廃棄物災害収集に関する協定」を締結いたしました。
総合防災訓練	8月25日に実施。井ノ口地区の宮向、宮前、宮上の各自主防災会を重点訓練地区として、井ノ口小学校を会場に、避難訓練、情報伝達訓練、避難所運営訓練、炊き出し訓練のほか、各種体験訓練を実施いたしました。重点地区以外の自主防災会でも主体的な訓練が行われ、小・中学生の参加も含め、町全体で約2,500名の方が防災訓練に参加いたしました。また、9月5日には防災行政無線を利用し、町内全域で地震の発生を想定した1分間の安全確保行動、シェイクアウト訓練を実施いたします。今後も、指定避難所宿泊訓練や防災講演会、防災リーダー研修会などを計画的に実施することにより、防災意識の高揚を図るとともに、地域防災力の向上につなげてまいります。
農作物収穫体験事業	農業体験の機会を提供することにより、都市住民との交流を推進する「農作物収穫体験事業」についてですが、6月に田植え体験、8月にブルーベリーや夏野菜の収穫体験を実施いたしました。参加者の9割が町外の方、また7割が初めて参加された方で、農業体験と同時に、里都まちガーデンのピザ釜を活用した交流や地場製品のPRも行い、都市住民に中井町の豊かな自然環境を体験していただくとともに、町の魅力を発信することができました。収穫の秋にも引き続き事業を実施してまいります。

<p>道路、橋りょう関係</p>	<p>その適正な維持管理による安全確保のため、平成26年度から継続して実施しております町道境平沢線の舗装補修、並びに町内の橋りょう34橋の定期点検や昨年度の橋りょう点検結果から東大塚橋の橋りょう補修設計業務を発注いたしました。また、将来のまちづくりにおいて重要な役割を担う、厚木秦野道路（国道246号線バイパス）の早期完成を図るため、国及び県の関係機関に対し、関係市町で構成する建設促進協議会より要望活動を実施いたしました。</p>
<p>都市計画事業</p>	<p>（仮称）秦野中井インターチェンジ南土地地区画整理事業の事業化に向け、必要となる都市計画決定図書作成業務委託を発注いたしました。 引き続き、安全・安心な道路環境の整備、並びに計画的なまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>青少年ふれあい交流事業</p>	<p>今年で29年目を迎えました。山形県戸沢村の小学6年生9名が、7月27日から3日間の日程で本町を訪れました。中井メガソーラーや中井中央公園での地域学習、境コミュニティセンターでの宿泊、ホームステイ体験、企業見学などを実施し、本町の10名の児童と交流を図りました。来年1月には本町の児童達が戸沢村を訪問しますが、関係者も含めて、更なる交流の絆が深まることを期待しております。</p>
<p>広域連携事業</p>	<p>7月31日から3日間、1市4町1村のとして、青少年交流洋上体験事業を実施し、本町からも7名の中学生が参加しました。初めて会った他市町村の中学生と船上で過ごした2泊3日の共同生活で、貴重な体験を得ることができたと思います。</p>
<p>生涯学習環境の整備・充実</p>	<p>ご不便をお掛けしておりました農村環境改善センター図書室の拡張工事が完了いたしました。また、インターネットでの蔵書検索・予約システムを可能とする図書の電算化業務についても発注し、レファレンスサービスの向上を図るべく、その準備をいたしております。</p>